

平成22年度第3回川崎区区民会議

日 時 平成22年12月27日（月）午後6時30分

場 所 川崎区役所7階会議室

午後 6時29分 開 会

出席者（敬称略）

（1）委員 15人

魚津利興、荒井敬八、島田潤二、石渡勝朗、猪熊俊夫、木島千栄、鈴木真、田辺富夫、
富田順人、朴栄子、秦琢二、藤岡玲子、星川孝宜、宮崎とみ子、吉野智佐雄

（2）参与 4人

飯塚正良、岩崎善幸、小林貴美子、浜田昌利

1 開 会

事務局 最初に、東海道まちづくり文化・交流拠点について、総合企画局公園緑地まちづくり調整室担当課長から説明します。

総合企画局 <川崎駅周辺地域における文化資源等を活用したまちづくりの考え方（案）、
「川崎駅周辺地域における文化資源等を活用したまちづくりの考え方」の策定及び今後のスケジュールを説明>

事務局 <会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、出席者の紹介>

事務局 坂本参与、佐野参与、嶋崎参与、西参与、林参与、宮原参与、杉山参与につきましては、所用により御欠席との連絡がはっております。

2 委員長あいさつ

委員長 本日は、10月に開催された第2回全体会議に引き続いての開催ですが、この間、各部会では2回会議を開いていただきました。前回の全体会議でいただいた意見を参考に、高齢者部会、子ども部会では、課題解決に向けて現地視察もしていただき、環境部会では実行計画へと進んでいただきました。

また、3月6日には区民会議フォーラムを開催し、区民の皆様から意見をいただくような機会を設け、可能であれば各部会の実施方針等に反映させていただければと思っています。

3 議題

(1) 高齢者部会審議状況について

委員長 最初に、高齢者部会審議状況について説明をお願いします。

部会長 <資料1、資料2、資料3に沿って説明>

委員長 市内を視察して、目についたところを解決しながら前に進みたいということだと思います。

それでは、御意見をいただきたいと思います。

委員 都市問題の環境分野から、高齢者が家からまず出やすい環境をつくらなければいけないため、コミュニティバスは必要です。私も年をとって、車も自転車も事故を想定するような乗り方しかできなくなってきました。どこかへ行くときにどうしたらいいかと考えると、コミュニティバスのような小回りのきくものがが必要です。自転車の交通事故の60%以上が高齢者であることを考えると、自転車に乗せるよりは、こういうようなバスで便利さを追求することも必要ではないかと考え、これを提唱しました。

もう一つは、商店街のはみ出し陳列が多くなっています。高齢者がこれで足元をすくわれたらどうなりますか。また、不法な看板、放置自転車の問題もあります。段差の問題も出ましたが、高齢者が安心して街中へ出られる方策が絶対に必要ではないかを感じながら、この間の現地視察を行いました。

委員長 高齢者が行くところの一つに病院があります。東口からバスが出ているといますが、西口から東口まで行くのも大変です。商工会議所でも提言していますが、バスは西口から東口へ寄り、そして病院に行けばいいと考えています。参与の方にも考えていただければと思います。

副委員長 「コミュニティバスの導入」「解決策の概要」に「富士見地区を中心として」とありますが、これはどういう意図ですか。

委員 川崎駅から富士見球場へバスを運行させ、富士見球場を起点にしながら各方面へ行くのが最終的にTMOが望んでいる姿です。その意見を述べたところ、「富士見公園を中心として」という話につながっていったと思います。ただ、まずはシャトルバスを走らせることが目的です。川崎区にはへそがないとよく議論しますが、へそは富士見公園周辺がいいのではないかと議論もしています。そのようなことから回遊性の問題を取り上げて今の答えにします。

副委員長 私は大師に住んでいますが、大師の人が田島支所へ行くときは、バスを2系統から3系統使わないと行けません。駅を中心として放射線状に大きな道路を中心に路線バスが通っていますが、横ぐしを刺すような路線変更をすることでネットワークができるのではないのでしょうか。シャトルバスを考えることも大事ですが、そういうものを並行してお考えいただければと思っています。

委員 例えば、小田から大師へ行くには川崎駅を経由しないと行けません。そういうこともすべて解消するため、今のお話もちろん検討しています。その中で富士見公園中心説ができてきていますが、これをやるにはまだすごい時間がかかりますので、まずシャトルバスを走らせることによりほかへも波及していくのではないのでしょうか。

委員長 日本は外環道路がおくれています。それと同じような状況だと思います。部会でも機会があれば、臨港バスでも市営バスでも、その方を呼んで意見を聞いて進むのもいいと思っています。

(2) 子ども部会審議状況について

委員長 次に、子ども部会審議状況について説明をお願いします。

部会長 <資料4、資料5、資料6に沿って説明>

委員長 課題解決策についていろいろな団体に考え方を話して、より充実したものになっていけばいいと思っています。

「子どもの健康を考える」では、MRワクチンや子宮頸がんの出前講座が出ていますが、医師会として何か意見はありますか。

委員 神奈川県はMRワクチンの接種率が全国ワーストワンであることから、これを改善しなければいけないと、このテーマを出しました。予防接種は何でやるのか、義務なのか、副反応はどうなのか、皆さんはそういうことを疑問に持っていますが、予防接種は安全な飲料水を確保する次に大事な事業です。国を守る、国民を守るという原点に立ち返ってもう一度考えていただければわかっていただけます。皆さんと一緒に考えて接種率をもっと高めていただきたいと思います。

それに対する策として出前授業の話が出ましたが、具体的な場面になるとなかなか難しいと思います。医師会は協力できる範囲でやらせていただきたいと思います。教育委員会と協力して対処する問題であると思います。

子宮頸がんワクチンは、せんだっての閣議で決定され、川崎市も平成23年4月からス

ターゲットします。2年間と時限がありますが、がん予防ができるワクチンですので、多くの女子学生に参加していただくように啓発しなければならないと考えています。

委員長 健康が第一だと思います。区民会議を外しても前向きに進めていくようになればいいと思っています。医師会も協力をよろしくお願いします。

委員 出前講座をした生徒さんに啓発ポスターをかいてもらおうという活動が書かれています。環境部会では、小学校6年生を対象に環境ポスターをかいてもらうことを来年以降も継続したいと話しています。区民会議の提案でポスターをかいてもらうのは非常にいい動きになりそうだと感じました。

行政では高齢者施策と子ども施策の一本化が難しい中では、子どもの居場所づくり、思いきり遊べる場所と高齢者の生きがいづくりの促進と掛け合わせて、市民の呼びかけでその橋渡しができるのはすばらしい活動だと思います。コミュニティバスが通っても、行きたいところがあるわけでもないという方もいると思います。そこにはお子さんがいて、もしかしたら親にはなかなか話せないことを話してみようという気持ちになったりして、ぜひ行ってみたいくなる場所ができれば、すばらしい川崎区ができるのではないかと感じました。

委員長 川崎市こども夢パークはどこにあるのですか。また、フリースペースえんはどこにありますか。

部会長 夢パークは高津区の津田山にあります。フリースペースえんは夢パークと同じ敷地にあります。地域のボランティアもたくさんかかわっていて、すごい出会いの場になっていく場所だと思います。

委員長 川崎区にも欲しいですね。

副委員長 こういう提案が区民会議で決まれば、区長を通じて市長に提言します。川崎区でこういうものを欲しいと皆さんが賛同していただければ、お願いするだけはしてみなければいけません。ただ、予算や場所もいろいろと制約されますから、すぐにはできないでしょうが、あきらめないでどんどん言っていきましょう。そうしないと、区民会議の意味がありません。

(3) 環境部会審議状況について

委員長 次に、環境部会審議状況について説明をお願いします。

部会長 <資料7、資料8に沿って説明>

委員長 それでは、意見がありましたらお願いします。

副委員長 区の花を募集しますが、コンセプトは何ですか。区民会議としてやる以上、何らか川崎区に関係のあるようなものがあつたほうがいいと思いますが、どうですか。

部会長 区にゆかりのある花はイメージしていますが、区民が育てやすい花が一番よいのではないかとは思っています。

副委員長 区の花制定委員会は各階層から出していただいて、新しいイメージにつながつたようなものが誕生してもいいのではないかと思います。この考えは大賛成です。

主に緑とかそういう環境のお話をされました。交通意識の環境づくりでも、防災の面でも、実際どう考えているのか絵にかいて出させることは取っつきやすく意識してもらえらると思つています。その作品は大人でも参考になる面がある気がしますし、家族の新しい環境につながっていくのではないのでしょうか。

委員長 川崎区は緑が少ないという話がありました。川崎区は半分が工場地域になっています。工場の中に緑は何%と義務づけられていますが、その一部をメイン道路や人の目につくところに出してもらえれば、見た目も多くなると思つます。

委員 環境ポスターはすばらしいことだと思つます。できたポスターを公園に貼るのも効果的な方法ではないかと思つます。かつて公園に子どものかいた絵を貼りましたが、大人たちも自制して、今までになく公園がきれいになったと町会長さんを始め聞いたことがあります。

(4) 川崎区区民会議フォーラム開催について

委員長 川崎区区民会議フォーラム開催について、事務局から説明してください。

事務局 <資料9に沿つて説明>

委員長 日時、場所等はこの線を進めたいと思つますが、内容等について何か意見はありますか。

委員 リラックスした中でいろいろ意見を出していただくのが一番いいと思つます。

委員 やってみてからまた意見が出てくるのではないかと思います。

高齢者部会の報告のときにあったケヤキ並木ですが、巻いたワイヤが食い込んでしまっています。最初の区民会議に出てきたときも言っていますが、いまだにそのままになっています。まちの花とかそれも大事ですが、現在あるものを大事にしないといけないのではないのでしょうか。市議会のほうでもよろしくをお願いします。

段差のことですが、工事をするときわざわざ段差のあるものにするところがあります。最初から段差のないものにすれば、二重手間なく歩きやすい歩道ができると思います。

秦委員 フォーラムの内容はこれでいいと思いますが、各部会の取り組み報告は微に細に説明すると、特に子ども部会では、いいことの内容が多過ぎるので、もっとやってほしいという意見が異様に多く出ると思います。コーディネーターとパネラーである程度シナリオのようなものを集約しておいたほうがいいと思います。

委員 2期のフォーラムには出席できませんでしたが、一般の参加者が非常に少なかったという話が聞こえてきました。終わったものの報告では、ただ聞くだけになってしまうイメージで人が集まらなかったのかというのがあります。1年たって実行計画でき、あと1年で実現させていきますというところでフォーラムを開くのは非常に意義がありますし、人も集まりやすいのではないかという点で大賛成です。

私たちの活動をまず知ってもらうところでは、視察に行った写真を配るだけではなくて、パネルみたいな形で展示すると、体も使っているということで共感も呼べると思います。展示の工夫もしてみたいと思いました。

委員 「和やかな雰囲気づくりのアトラクション上演」では、地域には子どもがいて、大人がいてというそれがどこの場所でもメインになることだと思いますので、子どもを中心としたアトラクションを入れていただきたいと思います。

子どもと大人がつながるような形の話が各部会にあると思います。それを前面に出されたほうがいいという気がします。

委員 区民会議の概要説明のイ、区民会議の提案と現在の区の取組状況では、成果という点に重点を置いて話したほうが、(3)の取り組み報告に対する期待も出てくるのではないのでしょうか。

前回のフォーラムは余り印象に残っていないので、少しめり張りをつけていただいたほうがいいのではないかという感じがしています。

委員長 この段階でやることでよりいいものになることも期待してフォーラムをしたいと

いうことです。

何か意見がありましたら事務局のほうに話していただいても結構ですし、また幹事会である程度決めさせていただきたいと思います。

(5) その他

委員長 ここで、参与の方から感想を伺いたいと思います。

参与 1つは、11月に教育文化会館で「かわさきの風ものがたり」という川崎区の協働事業で1000人ほど集まりましたが、あれの10分の1ぐらいでも集められるようなアトラクションを何か考えたら、本当にアトラティブな催しができると思いました。

2つ目は、コミュニティバスの提案は、この間、商店街の有志の会合に出たときに全く同じ話をしていました。市制80周年のときに横軸にバスを走らせましたが、どうやって担っていくかというところで、NPO法人をつかって、運営主体も含めて考えていこうというところで終わってしまっています。区民会議で市民が今何を求めているかを調べてみようというのは、また一歩進むのではないかと思います。

3つ目は、この間、区の選出議員団に地域教育会議の方がお見えになって夢パークの話がされました。今、競輪場のコンパクト化の構想が出ており、用地的には少し出てくるので、もう1回富士見公園をどうするかという観点の中で、夢パークも夢ではないと思いました。同じ考え方を持っている人たちが区にはいっぱいいます。こういうふうにしよと取りまとめをしていただくと、すばらしい成果が生まれるような気がしました。ぜひ頑張ってくださいと思います。応援します。

参与 長寿であっても健康でなければなりません。高齢者部会のお話を聞きまして、高齢者が外に出てみたいと思えるようなウォーキングマップはぜひつくっていただきたいと思っています。期待しています。

夢パークの話は実現に向けて頑張っていきたいと思います。

花を制定したいという話はすばらしい発想だと思います。未来志向のあふれる花が選ばれたらすてきだと思います。

参与 先日の議会一般質問で川崎区長に質問しました。1つは旭町こども文化センターにあるフリースペース旭町のことです。教育委員会だけではできないので、地域でそれを補っていくという発想は大変すばらしいですが、もう一歩も二歩もこのあり方について検討される必要があるのではないかと質問したところ、23年度に中身について見直しをしていくという答弁がありました。さらに子どもたちにとってよりよい形に持っていければありがたいと思っています。

もう一つは、幸区で銭湯を使って赤十字の方が子育て支援をやっています。川崎区は銭湯が多いのでやってみてはどうかと質問しました。検討することがまだあるので、すぐにはできないが、可能性を探っていきたいという答弁がありました。

川崎区にあつて、ほかにはないようなことにも視点を向けてやってみることもいいと思っています。区民会議で検討されたことが一つでも二つでも実行されることは、川崎区がよりよい区になることは間違いないことです。その実現に向けてしっかりサポートしていきたいと思います。ケヤキのワイヤの写真もいただきましたので、早速議員団としても対応していきたいと思います。

委員長 事務連絡をお願いします。

事務局 <参考1に沿って説明>

区長 <お礼を述べる>

4 閉 会

事務局 以上で第3回川崎区区民会議を終了します。

午後 8時26分 閉 会